

2 環境学習

県民一人ひとりが環境を正しく理解し、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現・実行することこそが環境保全にとって最も重要であるという考えのもと、環境保全の実践に結びつくものとするため、各種講座の開催など環境学習の機会の提供を行っている。平成23年度の環境学習の取組については、以下のとおりである。

2.1 彩の国環境大学

県では、平成9年度から環境科学に関する知識を持った専門的な人材を育成するため、彩の国環境大学を開講している。今年度も環境に関する広範囲かつ専門的な知識を習得するため、基礎課程、実践課程を開講した。

各課程全10回。受講者：99人。修了者：77人。

開講式基調講演

開催日	講義名	講師名	抄録掲頁
8月27日	大気汚染と地球環境	埼玉県環境科学国際センター 総長 坂本和彦	89頁

閉講式基調講演

開催日	講義名	講師名	抄録掲頁
11月26日	震災被災地における環境問題をめぐって	生態工学研究所 代表 須藤隆一	90頁



開講式基調講演



閉講式基調講演

基礎過程

開催日	講義名	講師名	抄録掲頁
10月 8日	地球環境・埼玉の環境 埼玉県の温暖化の実態とその影響 ー実態と適応策ー	埼玉県環境科学国際センター 主任研究員 嶋田知英	92頁
10月 8日	環境経済学 緑の水利権 ～世界の水問題と河川環境再生に向けて～	武蔵野大学 専任講師 野田浩二	93頁
10月15日	化学物質 気になる暮らしの化学物質	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 野尻喜好	94頁
10月15日	埼玉の環境 埼玉の環境～現況と対策～	埼玉県環境部環境政策課 主査 中山宏昭	95頁
10月22日	自然環境 近年の野生生物の変化	埼玉大学 非常勤講師 巢瀬 司	96頁

基礎過程(続き)

開催日	講義名	講師名	抄録掲頁
10月22日	水環境 健全な水循環と里川の再生	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 高橋基之	97頁
10月29日	環境法学 自然の再生・創造と法の役割	東京経済大学 教授 磯野弥生	98頁
10月29日	廃棄物管理 持続可能な社会における廃棄物からのエネルギー・資源回収	日本工業大学 教授 佐藤茂夫	99頁
11月 5日	大気環境 埼玉県の大気環境	埼玉県環境科学国際センター 副室長 竹内庸夫	100頁
11月 5日	環境国際協力 開発途上国における森林保全分野の気候変動対策	(独)国際協力機構 地球環境部 森林・自然環境グループ 森林・自然環境 保全第一課 企画役 鈴木和信	101頁

実践過程

開催日	講義名	講師名	抄録掲頁
9月 4日	環境学習から環境まちづくりへ 学びと参加をつなげるコーディネーターの役割	NPO法人エコ・コミュニケーションセンター 代表 森 良	102頁
9月10日	環境学習の現状と課題 環境教育	立教大学大学院 教授 阿部 治	103頁
9月17日	事例研究① 地域で実践する里山保全活動	NPO法人むさしの里山研究会 理事長 新井 裕	104頁
9月18日	事例研究② 市民・学校・行政とのコミュニケーション	鴻巣の環境を考える会 会長 川島秀男	105頁
9月24日	環境学習プログラムをデザインする 環境学習プログラムをデザインする(演習)	学びの広場 代表 小川達己	106頁
10月 1日	生物多様性の保全について 生物調査法の実践(生態園にて実地演習)	埼玉県生態系保護協会 統括主任研究員 高野 徹	107頁

2.2 公開講座

その時々々の環境に関する話題などを扱った環境科学トピック講座、事業所環境セミナー及び彩の国環境大学修了生フォローアップ講座をはじめ、センター施設を活用した生態園体験教室、県民実験教室を開催した。

講座名	開催日	テーマ	参加者
① 事業所環境セミナー 事業所の環境教育担当者を対象に事業所における環境教育の推進を図るため開催している。	6月23日(木)	講義 「電力危機を乗り越える節電対策セミナー」	95人
	2月16日(木)	講義 「国内の事業系プラスチック・繊維廃材のリサイクルの現状と課題」 事業所における活動事例発表	41人

講 座 名	開 催 日	テ ー マ	参加者
② 彩の国環境大学修了生フォローアップ講座 環境保全活動や環境学習活動を行う彩の国環境大学修了者を対象に支援を行うため開催している。	1月21日(土)	講演 「地球熱エネルギーの利用」 活動事例発表 「未来の子供たちのために、いま私たちが出来ること」「つめかえ用は環境に優しいの？」	57人
③ 生態園体験教室 生態園における観察会や野外活動を通して身近な環境のしくみの理解や自然と生活との共生のあり方における自然環境保護意識の向上を図るため開催している。	5月 3日(火) 5月 4日(水) 7月16日(土) 7月30日(土) 8月 6日(土) 11月14日(月) 11月14日(月) 12月10日(土)	ネイチャーゲームで遊ぼう 自然観察会 見てみよう生態園の自然 川の生物で環境調査をしよう 竹で工作しよう〜うぐいす笛〜 昆虫の標本を作ろう ストーンペインティング 自然観察会 見てみよう生態園の自然 実りのリースを作ろう	66人 63人 37人 68人 43人 127人 36人 46人
④ 県民実験教室 簡易な化学実験やリサイクル工作を通して環境保全意識の向上を図るため開催している。	5月 3日(火) 5月 5日(木) 5月 5日(木) 6月12日(日) 7月18日(月) 7月23日(土) 8月 7日(日) 8月10日(水) 8月21日(日) 9月25日(日) 10月23日(日) 11月13日(日) 11月14日(月) 12月11日(日) 12月18日(日) 1月22日(日) 3月25日(日)	リサイクル工作 「くるくるレインボー」 リサイクル工作 「空気で遊ぼう 空気と遊ぼう」 サイエンスショー 「もくもく」 廃油からリサイクル石けんを作ってみよう 大気の性質を調べてみよう 水の性質を調べてみよう ニボシの解剖標本を作ろう リサイクル工作 「牛乳パックでモビール作り」 捨てる前にもう一度チェック! 「乾電池チェッカーを作ろう」 身近な物の中の化学物質 音と振動のなぞを調べてみようー実験とものづくりで確かめる音の正体ー リサイクル工作 「静電気モーターを作ろう」 サイエンスショー 「空気ってチカラもち! ?」「-196℃の世界」 草木染めをしてみよう 廃油からクリスマスアロマキャンドルを作ろう びりりん! 静電気のひみつと静電気くらげ作り 不思議な万華鏡を作ろう	226人 215人 212人 50人 36人 49人 74人 43人 79人 25人 23人 55人 530人 31人 42人 52人 140人

2. 3 身近な環境観察局ネットワーク

身近な環境を調査することにより、環境問題への関心を高めることを目的に、県民、環境NGOや県内の中学、高校の科学クラブなどを身近な環境観察局としたネットワーク化を図っている。

観察局数:64局(平成24年3月31日現在)

2. 4 研究施設公開

夏休み、県民の日などに研究施設の一般公開を行っている。

開催日		内 容	参加者
5月 4日(水)	ゴールデンウィーク	普段非公開の研究施設を見学するツアーを実施	82人
8月19日(金)	夏休み		42人
11月14日(月)	県民の日		81人

2. 5 地域環境セミナー

地域環境セミナーは、県内地域の環境保全活動を支援するため、センターの職員が地域に出向いて行うもので、自治体や環境保全団体等との共催、もしくは協力を得て実施するものである。

第6回目の今回は、環境保全団体の役員や埼玉県地球温暖化防止活動推進センターなどから構成する実行委員会により開催された「第2回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」に参加する形で実施した。

開催日	会 場	内 容	参加者
10月30日(日)	大宮ソニックシティ 市民ホール	・分科会 「くらしのエコ」、「深夜化するライフスタイルの見直し」、「生物多様性」、「自然エネルギー」 ・生物多様性分科会での講演・ワークショップ 自然環境担当 担当部長 金澤光 ・ポスター展示(環境科学国際センターの取組をPR)	フォーラム 参加者数 191人

2. 6 イベント参加

加須市等のイベントに参加し、ポスター展示やチラシなどにより環境学習活動のPRを行った。

開催日	イ ベ ント 名	会 場	参 加 者
10月16日(日)	さいたまサイクリングフェスティバル	上尾運動公園	196人
11月 6日(日)	加須市環境フォーラム2011	大利根生涯学習センター	230人

2. 7 その他

ゴールデンウィーク、夏休み、県民の日等に各種イベントを実施した。

イ ベ ント 名	開催日	内 容	備 考
① ゴールデンウィーク特別企画	4月29日(金) } 5月 5日(木)	・オリエンテーリングクイズ	参加者延 2,720人
② 夏休み特別企画	7月16日(土) } 8月31日(水)	・オリエンテーリングクイズ	参加者延 7,820人
③ 県民の日ウィーク特別企画	11月12日(土) } 11月14日(月)	・サイエンスショー ・リサイクル工作 ・オリジナルしおりづくり ・オリエンテーリングクイズ	参加者延 2,867人
④ 科学番組上映会	4月23日(土) } 3月11日(日)	・「偉人たちの夢」 ・「キララと一緒にふしぎ体験」 ・「燃えよ虫拳」他	参加者延 963人